

株式会社 中野鍛造所

プロが認める熱間鍛造技術、 高品質・短納期で貢献

納期相談
コスト相談
メイドイン
ジャパン
試作可
小ロット
量産対応



神鍋工場（兵庫県豊岡市）の自動鍛造ライン

業務内容 独自の一貫生産システム構築、 顧客要求に柔軟対応

「中野鍛造所」は黄銅、アルミニウム、銅など非鉄金属素材の熱間鍛造品の製造を主力とする。鍛造後の部品の二次加工も手がけており、これらの部品の産業用バルブや給湯機器、産業用ロボットなどのメーカーに供給している。金型の設計・製作から鍛造、切削、表面処理に至る独自の一貫生産システムを築き、量産品から短納期の多品種小ロット品まで対応できる。

さらに型鍛造の生命線とも言える金型を100%内製することで、金型精度向上を図るとともに、生産リードタイム短縮や急な設計変更など、顧客の要求に柔軟に対応できる体制を整えている。

強み 最短7営業日で鍛造品 サンプルの納品も可能

鍛造部品の加工を手がける企業は、金型の設計・製作を外部委託するケースが多いが、同社は平成元年より社内に金型の設計・製作部門を設け、技術やノウハウの蓄積を進めてきた。徳田義郎社長は「金型の設計・製作や切削加工を社内で行うからこそ、難しいことにトライでき、ニーズに応えられる」と強調する。さらには「一貫生産システムの構築によって工程間で生じていた無駄な動きの排除にも成功。このシームレスで統合された低コスト・高効率な生産体制が強みで、特別対応の場合、最短7営業日で鍛造品サンプルを納品することも可能だ。

光る技術 中空完全バリ無し 鍛造品の量産技術を確立

熱間型鍛造品は鍛造品と比べて素材の組織が緻密で、内部に生じる欠陥（鑄物果）もなく、

強度や硬度など機械的性質も安定する特徴がある。さらに切削工程の削減が図れ、歩留まり向上、材料費の軽減にもつながる。

中でも、同社の「中空閉塞鍛造」技術は従来の鍛造品のイメージを覆すパーティングラインがない高度なレベルを実現。この技術の先駆者として同社の鍛造品の精度は他社を圧倒するという。鍛造金型を閉じてからパンチを挿入し、内径を除肉しながら成形するこの工法は、同社では主にバルブや継手などの製造に採用しており、製品の軽量化や省材料化にもつながり、物流コスト削減の点でも大きく貢献している。

今後の展望 生産効率一段アップへ 製造現場のIoT化推進

少子化が進行していることから、若年労働者の不足を補うため、製造現場のIoT（モノのインターネット）化を推進。生産効率を高めていく。ものづくりにかかわる支援制度などをうまく活用し、鍛造工程へのロボット導入などによって、小ロットでも付加価値を高められる体制の構築を目指す。鍛造や切削技術のデータベース化も図る。

一方で、鍛造部品の用途開拓も進める。培った技術力を生かし、生産技術向上におけるコンサルティング業にも乗り出したい考えだ。また国内市場の縮小を見据え、EU（欧州連合）域内やアジア圏でのビジネス創出にも努めていく。



中空バリ無し鍛造部品のサンプル



神鍋工場、鍛造品のトリミングライン

当社の歴史



ものづくりのまち大阪府東大阪市で創業し、50年以上にわたって技術を磨いてきました。業界に先駆けて欧州製の鍛圧機を導入し、これまで高生産性、高品質な鍛造品の供給に力を入れてきました。得意技は熱間鍛造品や切削加工完成品の短納期対応です。技術で幅広いお客様のニーズに応えています。

代表取締役 徳田 義郎さん

<http://www.nkn.co.jp/>

主な事業内容

非鉄金属熱間鍛造品および付随する二次切削加工品の製造販売

主な取引先(納入先)

産業用バルブ、給湯機器、建築資材、農機具、住宅機器、産業用ロボットなどのメーカー

●住所

〒578-0913
東大阪市
中野1-20-5

●TEL

072-961-6925

●FAX

072-964-7628

●創業

昭和38年7月

●設立

昭和48年11月

●資本金

7,200万円

●従業員

21名